

広島県

広島県退職校長会

結成 昭和40年7月23日

○会の歩み

本会は昭和40年7月に、800名の会員で発足した。会員の相互親睦と生活向上の増進を図るとともに、本県教育振興に寄与することを目的とし、的確に進めていたところ平成2年、広島市支部が退会し、また、平成18年には高等学校支部が退会した。しかし年々組織や態勢づくりに努力し、現在では22の支部と2,227名に達する会員を擁する会となった。

○活動状況

広島県退職校長会は、本県教育の振興に寄与するとともに、会員相互の親睦と福祉の増進を図るという目的達成のため、本部と支部の連携を強め、支部活動の活性化を図られるよう諸活動を推進している。

本会では、年1回の理事会や隔年開催の総会・講演会・懇親会をはじめ、毎年県内を3ブロック別に連絡協議会を持ち、支部長・理事・事務局長が出席し、本部からの連絡報告をはじめ、地区の学校教育・社会教育や本県教育の現状や課題などの論議や情報交換などを行っている。また、会員相互の絆を深め、親しみのある機関紙としての会報を年3回発行している。

今日的な教育課題を把握するため、例年、広島県教育委員会との「教育懇話会」を持っている。県教育委員会側から、主要施策の説明のあと、本会から会員が寄せたさまざまな教育情報を提供し交流を図っている。

県内22の支部では、各支部ともに事業・活動方針を持って積極的な活動を進めている。総会では、会員の中から地域の活性化に貢献した実践事例の発表や健康寿命の秘訣策などの研修も取り入れ、豊かな生きがいの創造をめざした報告が多い。また、とかくひきこもり勝ちな会員のため、近場での歴史や芸術など探訪の小旅行を企画したり、会員の趣味を生かした作品展を公民館などで開催して好評を得たことの報告が3件もある。

現職校長と退職校長との懇談会・子ども支援活動・学校訪問などの活動を展開している支部が多い。また、支部会報や記念誌の発行・会員相互の親睦と福祉向上のための活動などを行っている。今後、会員の高齢化や会員確保が難しくなるなか、諸活動の充実強化に努めている支部が多い。

